



和賀の園

社会福祉法人方光会 施設長 川村護さん

和賀の園 (わがのその)

〒024-0323 岩手県北上市和賀町煤孫 9-9-1 ☎0197-73-5123
平成 17 年 4 月 1 日設立
事業内容：生活介護事業、就労継続支援（B 型）事業
就労系活動内容：ダンボール組み立て受託、自主事業（糀なんばん、ソフトかりんとうなどの製造）、食堂経営、岩手中部クリーンセンター業務委託



人情派の川村施設長と明るく元気な職員の方皆さん



一から手作りのソフトかりんとう

利用者にやりがいを持たせるために。生活介護者にも工賃支払い。

〈和賀の園〉は昭和 58 年に和賀地区の知的障害を抱える子供を持ったお母さんたちがつくった作業所からスタートしています。

この施設の特徴の一つに「生活介護事業」の利用者に工賃を支払っていること。通常は生活介護事業では訓練のみで工賃を支払うことはないのです。その理由を川村施設長に聞いてみました。

「工賃は利用者のやりがいに繋がります。その工賃は評価表を基に算出されるのですが、本人がそれを見て、自分の仕事ぶりが上がったかどうか実感できるのです。」

確かに訓練だけで日々を送るよりも、“認められた”、“対価がもらえた”ということを実感できる仕組みの方がやる気が出るでしょう。作業は大きく 3 つ。

①販売商品の製造

今回〈北上お試し BOX まごころ版〉に出品している〈糀なんばん〉や〈ソフトかりんとう〉の製造。ソフトかりんとうは一から手作りされたもの。生地を練り、のばし、切り、油で揚げて、味付けをしている。他にもかりかり梅や山の幸（きゅらぶき等）など、北上の懐かしい味を心掛けてつくっている。

②施設外での作業

・北上市役所内の〈食堂ひだまり〉の店舗経営 食堂では厨房だけでなく店頭にも利用者を出してサービス業の勉強を積極的に行っている。ワンコイン定食が人気。

・〈岩手中部クリーンセンター〉の計量業務や清掃管理

③受託事業 段ボール組み立て

仕事をもっと増やしたいですか？と聞いてみるとそこには課題があった。

「うちの場合、現在施設外で 2カ所。製造場所も 2カ所あり、そこには必ず職員がいなければならないのです。職員の人手不足で新しい仕事が取れないというジレンマがあります。」

福祉業界の人手不足は全国的なことだが、そのことで取れる仕事を断らねばならないというもなかなかきついただろう。

最後に、何か PR したいことがありますか？と施設長に聞いてみると、開口一番「煤孫ひな子剣舞（すすまごひなこけんばい）です！」と。

「北上市内の〈煤孫〉という地区に代々伝わる民俗芸能で、文部科学大臣賞も受賞しているもの。

うちの職員がひなこ剣舞の踊り手で、利用者に教え始めたのですが、和賀の園まつりで一緒に踊っている姿を見て感無量でしたよ。障がい者だって伝統芸能の後継者になれるんです。」と。川村さんの利用者に対する想いは強い。